

日米の「核共有」正当化

日本維新的馬場伸華
代表は5日夜放送のBSフ
ジ番組「プライムニュース」
で、「自民党は現状派、
維新は改革派の保守だ。そ
の土俵に立った上で政権交
代可能な二大政党を自指す
のがわれわれの理想だ」と
し、維新が政権交代したと
しても「反観政権」をつ
いては「全く視野に入
っていない」と主張し、自
民の補完勢力ありを改めて
鮮明にしました。

馬場氏は、1月下旬から
の通常国会で「憲法改正項
目を絞り込み、いつ国民投
票をするか議論を始めるへ
きだ」と改憲議論の加速を
主張。さりげなく敵基地攻撃
能力の保有や大軍拡を明記
した「安保3文書」について
て「まだまだ生ぬる」と
発言。ロシアのウクライナ

侵略を口実に「サイバー攻
撃が分かれば先制攻撃もあ
り得る」と述べました。

馬場氏は日本と米国との
「核共有」について「想定
外が起これば、最終最後の
手段として使う」といって
いる。核を使うことのメリッ
トもある」と正当化しまし
た。さらに「安全保障の基
本的な考え方は『必要最小
限度』だが、根本から検証
するときがやってきていく
と」「専守防衛」を投げ
捨てる姿勢を示しました。

原発政策について「新し
い安全基準に基づいて太鼓
判が押された原発は再稼働
すべきだ」「安全が約束さ
れる原発は、どんどん（稼
働期間の）延長をやつたら
いい」など福島第一原発事
故の教訓を顧みない発言を
へつ返しました。

BS番組 維新・馬場氏「核使用にメリット」